

市区町村の防災に関するアンケート

素集計報告書

目次

1. 調査目的	1
2. 調査手法	1
素集計表	3
調査票	21

2015年3月

静岡大学防災総合センター牛山研究室

1. 調査目的

近年、洪水ハザードマップや、リアルタイム雨量・水位情報等の豪雨防災情報整備が急速に進みつつある。しかし、これらの情報が防災の現場において十分認知され、活用されているとは必ずしも言えない。豪雨防災情報の活用を図るためには、整備が進んでいる防災情報の認知度や、活用の実態を把握し、その課題を抽出していく必要がある。筆者らはこの問題意識にもとづき、防災情報の利用者であり同時に住民に対する直接的な提供者でもある市町村の防災担当者を対象としたアンケート調査をこれまでに数回実施してきた(牛山ら, 2003; 牛山, 2006; 牛山ら, 2006; 太田・牛山, 2011)。2014年に同様な趣旨で全国市町村の防災担当者を対象に、防災気象情報に対する認識などを調査した。本報告書は、調査結果の基礎情報として、素集計表および調査票をとりまとめたものである。

本報告書は速報としてとりまとめたものであり、今後修正される場合がある。また、丸め誤差により、集計表やグラフに示された比率の合計が100.0%とならない場合がある。

2. 調査手法

調査は全国市町村の防災担当者を対象に、郵送送付・郵送回収法で実施した。調査票は、2014年5月中旬に送付し、回答は2014年7月中旬到着分で締め切った。調査対象は、2014年5月1日現在で存在した1747市区町村から北方領土6村を除外した1741市区町村とした。なお東京都特別区は各区1通、政令指定都市は各市1通送付とした。内訳は790市(うち政令市20)、745町、183村、23特別区である。有効回答は885件、回収率は50.8%だった。

参考文献

- 牛山素行・今村文彦・片田敏孝・越村俊一：豪雨時の自治体における防災情報の利用，水工学論文集，No. 47，pp. 349-354，2003.
- 牛山素行：豪雨災害の多発が市町村の防災体制改善に及ぼす影響，災害情報，Vol. 4，pp. 50-61，2006.
- 牛山素行・新村光男・召田幸大・山口兼由：市町村による豪雨防災情報活用の実態分析，河川技術論文集，Vol. 12，pp. 163-168，2006.
- 太田好乃・牛山素行：2008年の調査にもとづく市町村における豪雨防災情報活用の課題，自然災害科学，Vol. 30，No. 1，pp. 81-92，2011.

謝辞

本報告書のとりまとめに当たっては、静岡県袋井市役所の清水修二氏(ふじのくに防災フェロー養成講座受講生)にご協力をいただいた。なお、本調査の一部は、環境省環境研究総合推進費(S-8)、科学研究費補助金「客観的根拠に基づく津波防災情報及び豪雨防災情報のあり方に関する研究」(研究代表者・牛山素行)、科学技術戦略推進費地域再生人材創出拠点形成事業「災害科学的基礎を持った防災実務者の養成」の研究助成によるものである。

素集計表

●それではまず、自然災害に対するお考えについてお聞きします。

貴市町村は、次に挙げるような災害に対して安全だと思いますか。近いものをそれぞれ一つ選び、数字に○をつけてください。

Q1 地震

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	安全	9	1.0	1.0
2	まあ安全	170	19.2	19.5
3	やや危険	247	27.9	28.3
4	危険	384	43.4	44.0
5	わからない	63	7.1	7.2
有効回答合計		873	98.6	100.0
無回答・無効回答		12	1.4	
全体		885	100.0	

Q2 津波

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	安全	447	50.5	52.3
2	まあ安全	95	10.7	11.1
3	やや危険	104	11.8	12.2
4	危険	184	20.8	21.5
5	わからない	24	2.7	2.8
有効回答合計		854	96.5	100.0
無回答・無効回答		31	3.5	
全体		885	100.0	

Q3 大雨・洪水

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	安全	9	1.0	1.0
2	まあ安全	149	16.8	17.1
3	やや危険	346	39.1	39.7
4	危険	342	38.6	39.3
5	わからない	25	2.8	2.9
有効回答合計		871	98.4	100.0
無回答・無効回答		14	1.6	
全体		885	100.0	

Q4 土砂災害

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	安全	67	7.6	7.7
2	まあ安全	132	14.9	15.2
3	やや危険	297	33.6	34.3
4	危険	347	39.2	40.0
5	わからない	24	2.7	2.8
有効回答合計		867	98.0	100.0
無回答・無効回答		18	2.0	
全体		885	100.0	

日本全国では、以前に比べて、豪雨が発生する回数や、豪雨による被害が増加したと思いますか。たとえば、最近(2000年以降)の平均値は、1980年代の平均値に対して何倍くらい増加(あるいは減少)したと思いますか。最も近いと思われる数字に○をつけてください。

Q5 1時間雨量80mm以上の猛烈な雨の記録回数

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	大幅に減少(0.5倍以下)	8	0.9	1.0
2	やや減少(0.6~1.0倍)	41	4.6	5.2
3	やや増加(1.1~1.5倍)	464	52.4	58.9
4	大幅に増加(1.6倍以上)	275	31.1	34.9
有効回答合計		788	89.0	100.0
無回答・無効回答		97	11.0	
全体		885	100.0	

Q6 豪雨による死者・行方不明者数

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	大幅に減少(0.5倍以下)	69	7.8	9.2
2	やや減少(0.6~1.0倍)	237	26.8	31.6
3	やや増加(1.1~1.5倍)	350	39.5	46.6
4	大幅に増加(1.6倍以上)	95	10.7	12.6
	有効回答合計	751	84.9	100.0
	無回答・無効回答	134	15.1	
	全体	885	100.0	

Q7 豪雨による住家の全壊・半壊・床上浸水の数

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	大幅に減少(0.5倍以下)	55	6.2	7.1
2	やや減少(0.6~1.0倍)	175	19.8	22.4
3	やや増加(1.1~1.5倍)	429	48.5	55.0
4	大幅に増加(1.6倍以上)	121	13.7	15.5
	有効回答合計	780	88.1	100.0
	無回答・無効回答	105	11.9	
	全体	885	100.0	

●ハザードマップについてお尋ねします

貴市区町村では、管内全体もしくは複数以上の集落を対象として、次のいずれかに該当するハザードマップを作成していますか、作成しているものに○をつけてください。1枚のマップに複数の情報が表示されている場合、表示されている情報のすべてに○をつけてください。

Q8 シミュレーションに基づき、洪水の浸水予想範囲・浸水深等を記載した地図

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	作成した	664	75.0	100.0
2	作成していない	0	0.0	0.0
	有効回答合計	664	75.0	100.0
	無回答・無効回答	221	25.0	
	全体	885	100.0	

Q9 過去の洪水時に記録された浸水深を地図上に表記したもの(「浸水実績図」)

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	作成した	197	22.3	100.0
2	作成していない	0	0.0	0.0
	有効回答合計	197	22.3	100.0
	無回答・無効回答	688	77.7	
	全体	885	100.0	

Q10 土石流危険渓流や急傾斜地崩壊危険区域を地図上に示したもの

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	作成した	553	62.5	100.0
2	作成していない	0	0.0	0.0
	有効回答合計	553	62.5	100.0
	無回答・無効回答	332	37.5	
	全体	885	100.0	

Q11 土砂災害防止法にもとづく警戒区域・特別警戒区域を地図上に示したもの

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	作成した	443	50.1	100.0
2	作成していない	0	0.0	0.0
	有効回答合計	443	50.1	100.0
	無回答・無効回答	442	49.9	
	全体	885	100.0	

Q12 そのハザードマップの印刷物としての公表の方法として、最も近いものを一つ選んでください。複数のマップが作成されている場合は、洪水に関する情報が含まれているマップで直近に発行されたものについてお答えください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	全戸に配布または回覧した。	707	79.9	85.7
2	洪水による被害が想定される地区の全戸に配布または回覧した。	65	7.3	7.9
3	希望者など一部の住民にのみ配布または回覧した。	39	4.4	4.7
4	原則として一般公開せず、公的機関内の使用に限定している。	14	1.6	1.7
	有効回答合計	825	93.2	100.0
	無回答・無効回答	60	6.8	
	全体	885	100.0	

Q13 そのハザードマップの電子媒体としての公表の方法として、最も近いものを一つ選んでください。複数のマップが作成されている場合は、浸水に関する情報が含まれているマップについてお答えください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	市町村役場のホームページで、利用者を制限せず公開している。	703	79.4	84.8
2	ホームページでは公開していないが、CDなどを作成・公表している。	6	0.7	0.7
3	以前はホームページで公開していたが、現在は公開していない。	8	0.9	1.0
4	ホームページ公開したことはなく、部内での参照に限定している。	29	3.3	3.5
5	電子媒体のハザードマップは作成していない。	83	9.4	10.0
	有効回答合計	829	93.7	100.0
	無回答・無効回答	56	6.3	
	全体	885	100.0	

Q14 貴市町村では、ハザードマップに関しての、住民向け説明会等を実施していますか。下記の中で最も近いものを選択してください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	管内全域を対象とした説明会を実施した	72	8.1	8.7
2	地区別の説明会を実施した	244	27.6	29.6
3	管内全域、および地区別の説明会の双方を実施した	15	1.7	1.8
4	説明会は特に実施していない	435	49.2	52.8
5	記録がなく、わからない	58	6.6	7.0
	有効回答合計	824	93.1	100.0
	無回答・無効回答	61	6.9	
	全体	885	100.0	

●災害の危険性がある場所についてお尋ねします

Q15 管内の土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定状況はどのようになっていますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	全域で指定済み	387	43.7	44.2
2	一部地区は指定済みだが、未指定の地区もある	277	31.3	31.7
3	指定の可能性がある場所は存在するが、まだ指定されていない	106	12.0	12.1
4	地形的に指定の可能性がある場所が存在しない	105	11.9	12.0
	有効回答合計	875	98.9	100.0
	無回答・無効回答	10	1.1	
	全体	885	100.0	

Q16 「全域で指定済み」または「一部地区で指定済み」の市区町村にお尋ねします。土砂災害警戒区域(イエローゾーン)と土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)の双方が指定されていますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	レッドゾーンおよびイエローゾーンの双方が指定されている	512	57.9	78.4
2	イエローゾーンのみ指定されている	130	14.7	19.9
3	レッドゾーンのみ指定されている	11	1.2	1.7
	有効回答合計	653	73.8	100.0
	無回答・無効回答	232	26.2	
	全体	885	100.0	

Q17 「一部地区は指定済みだが、未指定の地区もある」または「指定の可能性のある場所は存在するが、まだ指定されていない」の市区町村にお尋ねします。土砂災害警戒区域の指定作業の主体は都道府県ですが、市区町村の立場から考えて、指定が進まない最大の要因を以下から選ぶとすれば、どれだと考えられますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	予算が十分ではない	78	8.8	21.5
2	担当する職員数が十分ではない	111	12.5	30.6
3	住民の合意が得られない	59	6.7	16.3
4	わからない	115	13.0	31.7
	有効回答合計	363	41.0	100.0
	無回答・無効回答	522	59.0	
	全体	885	100.0	

Q18 貴市区町村では、土砂災害を警戒して避難勧告・避難指示の対象世帯を判断する場合、土砂災害警戒区域等を考慮することにはしていますか。ここで「土砂災害警戒区域等」は、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域・特別警戒区域の他、市区町村において土砂災害の危険性があると考えている場所も含みます。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	土砂災害警戒区域等に所在する世帯に対して行うことにしている	104	11.8	12.9
2	土砂災害警戒区域等を含む地区の世帯に対して行うことにしている	322	36.4	39.9
3	土砂災害警戒区域等の考慮は具体的には計画しておらず、総合的に判断することにはしている	381	43.1	47.2
	有効回答合計	807	91.2	100.0
	無回答・無効回答	78	8.8	
	全体	885	100.0	

Q19 管内の避難場所を指定する際、洪水の影響を考慮していますか。ここで「避難場所」は、一定期間滞在する避難所および緊急時の避難場所の双方を指します。また、「浸水想定区域等」は、水防法に基づく浸水想定区域の他、市区町村において洪水の危険性があると考えている場所も含みます。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	洪水の浸水想定区域等へは豪雨の際に開設する避難場所を置いていない。	310	35.0	36.0
2	洪水の浸水想定区域等へ豪雨の際に開設する避難場所を置いていたが、2階以上の部屋を使うなど、運用方法を決めている。	264	29.8	30.6
3	洪水の浸水想定区域等はあるが、避難場所の指定・運用に洪水のことは考慮していない。	167	18.9	19.4
4	洪水の浸水想定区域等がなく、避難場所の指定・運用に洪水のことは考慮していない。	121	13.7	14.0
	有効回答合計	862	97.4	100.0
	無回答・無効回答	23	2.6	
	全体	885	100.0	

Q20 管内の避難場所を指定する際、土砂災害の影響を考慮していますか。ここで「避難場所」は、一定期間滞在する避難所および緊急時の避難場所の双方を指します。また、「土砂災害警戒区域等」は、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域・特別警戒区域の他、市区町村において土砂災害の危険性があると考えている場所も含みます。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	土砂災害警戒区域等へは豪雨の際に開設する避難場所を置いていない。	353	39.9	41.6
2	土砂災害警戒区域等へ豪雨の際に開設する避難場所を置いていたが、2階以上の部屋を使うなど、運用方法を決めている。	176	19.9	20.7
3	土砂災害警戒区域等はあるが、避難場所の指定・運用に土砂災害のことは特に考慮していない。	208	23.5	24.5
4	土砂災害警戒区域等がなく、避難場所の指定・運用に土砂災害のことは特に考慮していない。	112	12.7	13.2
	有効回答合計	849	95.9	100.0
	無回答・無効回答	36	4.1	
	全体	885	100.0	

Q21 管内の道路沿い、建物などに、防災を目的として、その地点の標高(海拔)を示す看板・標示物を設置していますか。市区町村が設置したもの以外にも、都道府県や国交省等が設置しているものがあれば、これらを含め、わかる範囲でご回答ください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	東日本大震災以前から設置している	89	10.1	10.3
2	東日本大震災以降新たに設置するようになった	312	35.3	36.0
3	現在は設置していないが、今年度中に設置する予定	8	0.9	0.9
4	現在は設置しておらず、今年度中に設置する予定もない	458	51.8	52.8
	有効回答合計	867	98.0	100.0
	無回答・無効回答	18	2.0	
	全体	885	100.0	

●防災情報に対するお考えについてお尋ねします。

Q22 気象庁から、市区町村程度の地域的な広がり単位として、「土砂災害警戒情報」という情報が発表されることがあります。「土砂災害警戒情報」とはどのような時に発表される情報だと思いますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	すぐに土砂災害が発生するほどではないが、念のため注意した方がよい時	27	3.1	3.1
2	土砂災害が発生する可能性が生じた時	185	20.9	21.0
3	土砂災害が発生する危険度が高まった時	660	74.6	75.0
4	土砂災害が発生した時	2	0.2	0.2
5	わからない	6	0.7	0.7
	有効回答合計	880	99.4	100.0
	無回答・無効回答	5	0.6	
	全体	885	100.0	

Q23 気象庁から、市区町村程度の地域的な広がり単位として、「記録的短時間大雨情報」という情報が発表されることがあります。「記録的短時間大雨情報」とはどのような時に発表される情報だと思いますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	1時間の雨量が、その市区町村においては数年に一度程度しか発生しないくらいの値を記録した	545	61.6	62.0
2	1時間の雨量が、その市区町村においては数十年間に一度程度しか発生しないくらいの値を記録した	241	27.2	27.4
3	1時間の雨量が、日本全国で数年に一度程度しか発生しないくらいの値を記録した	60	6.8	6.8
4	1時間の雨量が、日本全国で数十年間に一度程度しか発生しないくらいの値を記録した	17	1.9	1.9
5	わからない	16	1.8	1.8
	有効回答合計	879	99.3	100.0
	無回答・無効回答	6	0.7	
	全体	885	100.0	

Q24 平成25年8月末より、気象庁から「大雨特別警報」という情報が発表されるようになりました。この「大雨特別警報」とはどのような意味の情報だと思いますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	大雨による災害の起こる可能性は少ないが、注意を促す情報	1	0.1	0.1
2	大雨による災害の起こるおそれを注意する情報	15	1.7	1.7
3	大雨による重大な災害が起こるおそれを警告する情報	112	12.7	12.7
4	大雨による重大な災害の起こる恐れが著しく大きいことを警告する情報	735	83.1	83.5
5	避難所への避難を呼びかける情報	14	1.6	1.6
6	わからない	3	0.3	0.3
	有効回答合計	880	99.4	100.0
	無回答・無効回答	5	0.6	
	全体	885	100.0	

貴市区町村内に次のような情報が発表された時、管内の一部または全域に対して、避難勧告または避難指示を出すと思いますか。最も近いものにそれぞれ1つ○をつけてください。

Q25 大雨警報

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	確実に出す	14	1.6	1.6
2	出す可能性はある	429	48.5	49.3
3	出す可能性は低い	397	44.9	45.6
4	確実に出さない	31	3.5	3.6
	有効回答合計	871	98.4	100.0
	無回答・無効回答	14	1.6	
	全体	885	100.0	

Q26 土砂災害警戒情報

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	確実に出す	82	9.3	9.7
2	出す可能性はある	622	70.3	73.6
3	出す可能性は低い	111	12.5	13.1
4	確実に出さない	30	3.4	3.6
	有効回答合計	845	95.5	100.0
	無回答・無効回答	40	4.5	
	全体	885	100.0	

Q27 記録的短時間大雨情報

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	確実に出す	98	11.1	11.3
2	出す可能性はある	685	77.4	78.6
3	出す可能性は低い	84	9.5	9.6
4	確実に出さない	4	0.5	0.5
	有効回答合計	871	98.4	100.0
	無回答・無効回答	14	1.6	
	全体	885	100.0	

Q28 大雨特別警報

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	確実に出す	501	56.6	57.5
2	出す可能性はある	358	40.5	41.1
3	出す可能性は低い	12	1.4	1.4
4	確実に出さない	1	0.1	0.1
	有効回答合計	872	98.5	100.0
	無回答・無効回答	13	1.5	
	全体	885	100.0	

Q29 現在気象庁では、「大雨警報レベル1」～「大雨警報レベル5」のように、5段階のレベルで気象警報を発表することが検討されています。5段階のレベルで警報が発表された場合、災害発生の危険性が高いのは「レベル5」の方だと感じますか、あるいは「レベル1」の方だと感じますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	「レベル1」の方が災害発生の危険性が高いと感じる	11	1.2	1.3
2	「レベル5」の方が災害発生の危険性が高いと感じる	833	94.1	98.7
	有効回答合計	844	95.4	100.0
	無回答・無効回答	41	4.6	
	全体	885	100.0	

貴市区町村内に下記のような5段階のレベルで気象警報が発表された時、管内の一部または全域に対して、避難勧告または避難指示を出すと思いますか。なおここでは仮に、「レベル5」の方が災害発生の危険性が高いものと定義します。

Q30 大雨警報レベル1

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	確実に出す	5	0.6	0.6
2	出す可能性はある	219	24.7	26.4
3	出す可能性は低い	448	50.6	53.9
4	確実に出さない	159	18.0	19.1
	有効回答合計	831	93.9	100.0
	無回答・無効回答	54	6.1	
	全体	885	100.0	

Q31 大雨警報レベル2

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	確実に出す	6	0.7	0.7
2	出す可能性はある	304	34.4	36.6
3	出す可能性は低い	471	53.2	56.7
4	確実に出さない	50	5.6	6.0
	有効回答合計	831	93.9	100.0
	無回答・無効回答	54	6.1	
	全体	885	100.0	

Q32 大雨警報レベル3

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	確実に出す	38	4.3	4.6
2	出す可能性はある	588	66.4	70.7
3	出す可能性は低い	198	22.4	23.8
4	確実に出さない	8	0.9	1.0
	有効回答合計	832	94.0	100.0
	無回答・無効回答	53	6.0	
	全体	885	100.0	

Q33 大雨警報レベル4

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	確実に出す	194	21.9	23.3
2	出す可能性はある	597	67.5	71.8
3	出す可能性は低い	36	4.1	4.3
4	確実に出さない	5	0.6	0.6
	有効回答合計	832	94.0	100.0
	無回答・無効回答	53	6.0	
	全体	885	100.0	

Q34 大雨警報レベル5

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	確実に出す	454	51.3	54.6
2	出す可能性はある	357	40.3	42.9
3	出す可能性は低い	19	2.1	2.3
4	確実に出さない	2	0.2	0.2
	有効回答合計	832	94.0	100.0
	無回答・無効回答	53	6.0	
	全体	885	100.0	

●避難勧告・避難指示に対するお考えについてお尋ねします

避難勧告・避難指示のあり方については様々な考え方があります。以下ではいくつかの論点について、それぞれ対極的な二つの考え方を挙げます。どちらかと言えば、「1」と「2」のどちらかに賛成されますか。どちらか一方をお選び下さい。

Q35 一般的な避難勧告や避難指示について

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	避難勧告や指示は、「空振り」に終わってもよいから、できるだけ積極的に出すべきである。	744	84.1	84.8
2	避難勧告や指示は、「空振り」が許容されないので、できるだけ慎重に出すべきである。	133	15.0	15.2
	有効回答合計	877	99.1	100.0
	無回答・無効回答	8	0.9	
	全体	885	100.0	

※ここで「空振り」とは、避難勧告等を出したが結果的に何も被害が発生しなかった状態を指します。

Q36 一般的な避難の判断について

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	災害時の避難は、最終的には住民が判断すべきであり、行政の仕事はそれをサポートすることである。	643	72.7	74.5
2	災害時の避難は、行政が責任をもって判断すべきであり、住民は行政の判断を頼りにして欲しい。	220	24.9	25.5
	有効回答合計	863	97.5	100.0
	無回答・無効回答	22	2.5	
	全体	885	100.0	

Q37 避難勧告・避難指示を出していない状況下で、夜間に「土砂災害警戒情報」や「大雨特別警報」などが発表され、さらに雨脚も強まっている状況下での避難勧告等の判断について

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	夜間は、避難することによりかえって犠牲者が増える可能性があるので、避難勧告・避難指示は出さない方がよい。	79	8.9	9.2
2	夜間であっても、無理な避難行動は取らないよう呼びかけた上で、強く注意喚起するためにも、避難勧告・避難指示を出した方がよい。	784	88.6	90.8
	有効回答合計	863	97.5	100.0
	無回答・無効回答	22	2.5	2.5
	全体	885	100.0	

Q38 急激に発達した豪雨時など、避難所の開設が完了していない場合の避難勧告・避難指示について

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	豪雨時には、避難所の開設が完了していなければ、避難勧告・避難指示は出さない方がよい。	218	24.6	25.6
2	豪雨時には、避難所の開設が完了していなくても、特に危険な状態が生じていれば、注意喚起の意味で避難勧告・避難指示を出した方がよい。	635	71.8	74.4
	有効回答合計	853	96.4	100.0
	無回答・無効回答	32	3.6	
	全体	885	100.0	

●昨年度の管内の災害についてお尋ねします。

管内では、昨年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)中に、台風・大雨に起因する洪水または土砂災害による下記の被害は生じましたか。

Q39 死者または行方不明者

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	発生した。	9	1.0	1.0
2	発生していない。	859	97.1	99.0
	有効回答合計	868	98.1	100.0
	無回答・無効回答	17	1.9	
	全体	885	100.0	

Q40 重傷者または軽症者

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	発生した。	62	7.0	7.2
2	発生していない。	805	91.0	92.8
	有効回答合計	867	98.0	100.0
	無回答・無効回答	18	2.0	
	全体	885	100.0	

Q41 住家の全壊・半壊・一部損壊

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	発生した。	175	19.8	20.2
2	発生していない。	691	78.1	79.8
	有効回答合計	866	97.9	100.0
	無回答・無効回答	19	2.1	
	全体	885	100.0	

Q42 住家の床上浸水・床下浸水

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	発生した.	367	41.5	42.0
2	発生していない.	507	57.3	58.0
	有効回答合計	874	98.8	100.0
	無回答・無効回答	11	1.2	
	全体	885	100.0	

Q43 非住家の全壊・半壊・一部損壊・床上浸水・床下浸水

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	発生した.	312	35.3	35.9
2	発生していない.	556	62.8	64.1
	有効回答合計	868	98.1	100.0
	無回答・無効回答	17	1.9	
	全体	885	100.0	

Q44 昨年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)中に、台風・大雨に起因する洪水または土砂災害を警戒する目的での避難勧告または避難指示を発令しましたか

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	発令した.	127	14.4	14.5
2	発令していない.	746	84.3	85.5
	有効回答合計	873	98.6	100.0
	無回答・無効回答	12	1.4	
	全体	885	100.0	

発令した事例を下記から選んでください。

Q45 7月28日の島根県及び山口県を中心とする大雨

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	発令した.	4	0.5	3.4
2	発令していない.	113	12.8	96.6
	有効回答合計	117	13.2	100.0
	無回答・無効回答	768	86.8	
	全体	885	100.0	

Q46 8月9日の東北地方を中心とする大雨

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	発令した.	5	0.6	4.2
2	発令していない.	113	12.8	95.8
	有効回答合計	118	13.3	100.0
	無回答・無効回答	767	86.7	
	全体	885	100.0	

Q47 8月23日から28日にかけての前線の活動による大雨

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	発令した.	7	0.8	5.9
2	発令していない.	111	12.5	94.1
	有効回答合計	118	13.3	100.0
	無回答・無効回答	767	86.7	
	全体	885	100.0	

Q48 9月15日から16日にかけての台風18号

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	発令した.	69	7.8	54.3
2	発令していない.	58	6.6	45.7
	有効回答合計	127	14.4	100.0
	無回答・無効回答	758	85.6	
	全体	885	100.0	

Q49 10月15日から16日にかけての台風26号

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	発令した.	13	1.5	11.0
2	発令していない.	105	11.9	89.0
	有効回答合計	118	13.3	100.0
	無回答・無効回答	767	86.7	
	全体	885	100.0	

Q50 その他の台風・大雨

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	発令した.	41	4.6	31.3
2	発令していない.	90	10.2	68.7
	有効回答合計	131	14.8	100.0
	無回答・無効回答	754	85.2	
	全体	885	100.0	

Q51 発令の決め手となった情報を下記から1つ選んでください。昨年度中に複数発令している場合は、年度内で最初(1回目)の事例についてお答えください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	その時点までの雨量や今後の雨量予測から	13	1.5	10.4
2	その時点の河川水位や今後の河川水位の予測から	68	7.7	54.4
3	大雨や洪水などの「警報」が発表されたため	1	0.1	0.8
4	「土砂災害警戒情報」が発表されたため	8	0.9	6.4
5	「記録的短時間大雨情報」が発表されたため	1	0.1	0.8
6	「大雨特別警報」(またはこれに相当する気象情報)が発表されたため	2	0.2	1.6
7	浸水の被害が確認されたため	6	0.7	4.8
8	土砂崩れや土石流の発生が確認されたため	12	1.4	9.6
9	住民からの通報内容や通報の数などから判断して	3	0.3	2.4
10	その他	11	1.2	8.8
	有効回答合計	125	14.1	100.0
	無回答・無効回答	760	85.9	
	全体	885	100.0	

●貴市町村の防災担当部署の体制についてお尋ねします

ここで、「防災担当部署」とは、防災情報等を活用し、避難勧告等の発令を検討する業務を担当する部署とします。

◆「防災担当部署」に所属し、防災を担当されている職員数は何名ですか。

Q53 専任者

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
0人		266	30.1	30.1
1人		130	14.7	14.7
2人		93	10.5	10.5
3人		92	10.4	10.4
4人		75	8.5	8.5
5人		54	6.1	6.1
6人		43	4.9	4.9
7人		24	2.7	2.7
8人		21	2.4	2.4
9人		11	1.2	1.2
10人		21	2.4	2.4
11人		5	0.6	0.6
12人		2	0.2	0.2
13人		8	0.9	0.9
14人		6	0.7	0.7
15人		3	0.3	0.3
16人		3	0.3	0.3
17人		5	0.6	0.6
18人		3	0.3	0.3
19人		2	0.2	0.2
20人		2	0.2	0.2
21人		0	0.0	0.0
22人		0	0.0	0.0
23人		1	0.1	0.1
24人		2	0.2	0.2
25人		0	0.0	0.0
26人		1	0.1	0.1
27人		2	0.2	0.2
28人		3	0.3	0.3
29人		0	0.0	0.0
30人		3	0.3	0.3
31人		0	0.0	0.0
32人		0	0.0	0.0
33人		1	0.1	0.1
34人		0	0.0	0.0
35人		0	0.0	0.0
36人		0	0.0	0.0
37人		0	0.0	0.0
38人		0	0.0	0.0
39人		1	0.1	0.1
40人		0	0.0	0.0
41人		0	0.0	0.0
42人		0	0.0	0.0
43人		0	0.0	0.0
44人		0	0.0	0.0
45人		0	0.0	0.0
46人		1	0.1	0.1
47人		0	0.0	0.0
48人		0	0.0	0.0
49人		1	0.1	0.1
有効回答合計		885	100.0	100.0
無回答・無効回答		0	0.0	
全体		885	100.0	

Q54 兼任者

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
0人		273	30.8	30.8
1人		152	17.2	17.2
2人		147	16.6	16.6
3人		120	13.6	13.6
4人		90	10.2	10.2
5人		41	4.6	4.6
6人		23	2.6	2.6
7人		12	1.4	1.4
8人		4	0.5	0.5
9人		3	0.3	0.3
10人		0	0.0	0.0
11人		2	0.2	0.2
12人		4	0.5	0.5
13人		4	0.5	0.5
14人		1	0.1	0.1
15人		0	0.0	0.0
16人		0	0.0	0.0
17人		0	0.0	0.0
18人		0	0.0	0.0
19人		1	0.1	0.1
20人		0	0.0	0.0
21人		0	0.0	0.0
22人		0	0.0	0.0
23人		0	0.0	0.0
24人		0	0.0	0.0
25人		1	0.1	0.1
26人		0	0.0	0.0
27人		1	0.1	0.1
28人		0	0.0	0.0
29人		0	0.0	0.0
30人		0	0.0	0.0
31人		0	0.0	0.0
32人		0	0.0	0.0
33人		0	0.0	0.0
34人		0	0.0	0.0
35人		0	0.0	0.0
36人		0	0.0	0.0
37人		0	0.0	0.0
38人		1	0.1	0.1
39人		0	0.0	0.0
40人		1	0.1	0.1
41人		0	0.0	0.0
42人		1	0.1	0.1
43人		0	0.0	0.0
44人		0	0.0	0.0
45人		0	0.0	0.0
46人		0	0.0	0.0
47人		0	0.0	0.0
48人		0	0.0	0.0
49人		0	0.0	0.0
51人		1	0.1	0.1
65人		1	0.1	0.1
221人		1	0.1	0.1
有効回答合計		885	100.0	100.0
無回答・無効回答		0	0.0	
全体		885	100.0	

防災担当の専任職員の職種を下記のように分類した場合、それぞれ何人が所属されていますか。複数の属性を持たれている方は、最も代表的な職種に分類してください。

Q55 事務職

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
0人		134	15.1	15.2
1人		152	17.2	17.2
2人		132	14.9	14.9
3人		141	15.9	16.0
4人		112	12.7	12.7
5人		69	7.8	7.8
6人		40	4.5	4.5
7人		26	2.9	2.9
8人		21	2.4	2.4
9人		11	1.2	1.2
10人		9	1.0	1.0
11人		4	0.5	0.5
12人		2	0.2	0.2
13人		4	0.5	0.5
14人		8	0.9	0.9
15人		2	0.2	0.2
16人		3	0.3	0.3
17人		0	0.0	0.0
18人		1	0.1	0.1
19人		2	0.2	0.2
20人		2	0.2	0.2
21人		0	0.0	0.0
22人		0	0.0	0.0
23人		2	0.2	0.2
24人		1	0.1	0.1
25人		0	0.0	0.0
26人		2	0.2	0.2
27人		0	0.0	0.0
28人		1	0.1	0.1
29人		0	0.0	0.0
30人		2	0.2	0.2
31人		0	0.0	0.0
32人		0	0.0	0.0
33人		0	0.0	0.0
34人		0	0.0	0.0
35人		0	0.0	0.0
36人		0	0.0	0.0
37人		0	0.0	0.0
38人		0	0.0	0.0
39人		0	0.0	0.0
40人		0	0.0	0.0
41人		0	0.0	0.0
42人		0	0.0	0.0
43人		0	0.0	0.0
85人		1	0.1	0.1
有効回答合計		884	99.9	100.0
無回答・無効回答		1	0.1	
全体		885	100.0	

Q56 技術職

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
0人		776	87.7	87.7
1人		61	6.9	6.9
2人		24	2.7	2.7
3人		13	1.5	1.5
4人		5	0.6	0.6
5人		2	0.2	0.2
6人		0	0.0	0.0
7人		2	0.2	0.2
8人		0	0.0	0.0
9人		1	0.1	0.1
10人		0	0.0	0.0
157人		1	0.1	0.1
有効回答合計		885	100.0	100.0
無回答・無効回答		0	0.0	
全体		885	100.0	

Q57 消防職

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
0人		705	79.7	79.8
1人		110	12.4	12.4
2人		36	4.1	4.1
3人		15	1.7	1.7
4人		3	0.3	0.3
5人		2	0.2	0.2
6人		3	0.3	0.3
7人		2	0.2	0.2
8人		1	0.1	0.1
9人		0	0.0	0.0
10人		1	0.1	0.1
11人		0	0.0	0.0
12人		0	0.0	0.0
13人		0	0.0	0.0
14人		0	0.0	0.0
15人		0	0.0	0.0
16人		2	0.2	0.2
17人		1	0.1	0.1
18人		0	0.0	0.0
19人		0	0.0	0.0
20人		0	0.0	0.0
23人		1	0.1	0.1
26人		1	0.1	0.1
38人		1	0.1	0.1
有効回答合計		884	99.9	100.0
無回答・無効回答		1	0.1	
全体		885	100.0	

Q58 その他

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
0人		805	91.0	91.1
1人		54	6.1	6.1
2人		15	1.7	1.7
3人		6	0.7	0.7
4人		2	0.2	0.2
5人		0	0.0	0.0
6人		2	0.2	0.2
有効回答合計		884	99.9	100.0
無回答・無効回答		1	0.1	
全体		885	100.0	

Q59 貴市区町村では、防災担当の専任職員は平均的には何年程度で異動になりますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1 2年未満		27	3.1	3.5
2 2年以上4年未満		592	66.9	77.3
3 4年以上		147	16.6	19.2
有効回答合計		766	86.6	100.0
無回答・無効回答		119	13.4	
全体		885	100.0	

現在の貴市区町村の防災担当の専任職員の中で、防災を主内容とした体系的な研修に参加した方はいますか。該当する研修に○をつけてください。ここでいう「体系的な研修」はおおむね通算2日間以上の日程で、複数の科目が盛り込まれたものを指し、単一内容の講習や数時間程度の講演は含みません。

Q60 内閣府主催の「防砂スペシャリスト養成研修」

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	参加した.	49	5.5	7.0
2	参加していない.	648	73.2	93.0
	有効回答合計	697	78.8	100.0
	無回答・無効回答	188	21.2	
	全体	885	100.0	

Q61 国土交通大学校主催の研修

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	参加した.	5	0.6	0.7
2	参加していない.	688	77.7	99.3
	有効回答合計	693	78.3	100.0
	無回答・無効回答	192	21.7	
	全体	885	100.0	

Q62 人と防災未来センター主催の研修

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	参加した.	87	9.8	12.4
2	参加していない.	616	69.6	87.6
	有効回答合計	703	79.4	100.0
	無回答・無効回答	182	20.6	
	全体	885	100.0	

Q63 消防大学校主催の研修

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	参加した.	69	7.8	9.9
2	参加していない.	627	70.8	90.1
	有効回答合計	696	78.6	100.0
	無回答・無効回答	189	21.4	
	全体	885	100.0	

Q64 消防科学総合センター主催の研修

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	参加した.	31	3.5	4.5
2	参加していない.	661	74.7	95.5
	有効回答合計	692	78.2	100.0
	無回答・無効回答	193	21.8	
	全体	885	100.0	

Q65 市区町村アカデミー主催の研修

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	参加した.	145	16.4	20.3
2	参加していない.	569	64.3	79.7
	有効回答合計	714	80.7	100.0
	無回答・無効回答	171	19.3	
	全体	885	100.0	

Q66 自治大学校主催の研修

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	参加した.	7	0.8	1.0
2	参加していない.	685	77.4	99.0
	有効回答合計	692	78.2	100.0
	無回答・無効回答	193	21.8	
	全体	885	100.0	

Q67 防災士養成研修(自治体・防災士機構・大学等が主催)

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	参加した.	196	22.1	27.1
2	参加していない.	526	59.4	72.9
	有効回答合計	722	81.6	100.0
	無回答・無効回答	163	18.4	
	全体	885	100.0	

Q68 都道府県主催の研修

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	参加した.	374	42.3	52.1
2	参加していない.	344	38.9	47.9
	有効回答合計	718	81.1	100.0
	無回答・無効回答	167	18.9	
	全体	885	100.0	

Q69 大学主催の研修

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	参加した.	46	5.2	6.6
2	参加していない.	649	73.3	93.4
	有効回答合計	695	78.5	100.0
	無回答・無効回答	190	21.5	
	全体	885	100.0	

Q70 その他の体系的な研修

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	参加した.	177	20.0	25.2
2	参加していない.	526	59.4	74.8
	有効回答合計	703	79.4	100.0
	無回答・無効回答	182	20.6	
	全体	885	100.0	

Q71 災害対策本部が設置されている状況下で、避難勧告など非定型の緊急のお知らせを、役所のホームページ(防災部門のページだけではなく、「最新情報」などの目立つ場所)に掲載する場合、どのような方法で行われることになりますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	防災担当者自身が直接書き込む	218	24.6	24.9
2	防災担当者から情報・広報関係の担当者や委託業者に依頼する	164	18.5	18.8
3	災対本部等の中で情報共有し、情報・広報関係の担当者が書き込む	389	44.0	44.5
4	特に決まっていない	103	11.6	11.8
	有効回答合計	874	98.8	100.0
	無回答・無効回答	11	1.2	
	全体	885	100.0	

Q72 災害対策本部が設置されている状況下で、避難勧告など非定型の緊急のお知らせを、役所のホームページ(「最新情報」など)に掲載する場合、そのお知らせを作成してからどの程度の時間が必要だと思いますか

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	5分未満	181	20.5	21.1
2	5分以上1時間未満	640	72.5	74.5
3	1時間以上3時間未満	29	3.3	3.4
4	3時間以上	9	1.0	1.0
	有効回答合計	859	97.3	100.0
	無回答・無効回答	24	2.7	
	全体	883	100.0	

Q73 登録制の防災メール

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	運用している	544	61.5	63.0
2	運用していない	319	36.0	37.0
	有効回答合計	863	97.5	100.0
	無回答・無効回答	22	2.5	
	全体	885	100.0	

Q74 エリアメール(auやSoftbankの緊急速報メールを含む)

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	運用している	798	90.2	91.4
2	運用していない	75	8.5	8.6
	有効回答合計	873	98.6	100.0
	無回答・無効回答	12	1.4	
	全体	885	100.0	

Q75 ツイッターまたはフェイスブック

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	運用している	268	30.3	31.6
2	運用していない	580	65.5	68.4
	有効回答合計	848	95.8	100.0
	無回答・無効回答	37	4.2	
	全体	885	100.0	

Q76 放送時に自動的にスイッチがONになる方式のラジオ放送

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	運用している	101	11.4	12.1
2	運用していない	736	83.2	87.9
	有効回答合計	837	94.6	100.0
	無回答・無効回答	48	5.4	
	全体	885	100.0	

Q77 防災行政無線の屋外放送

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	運用している	728	82.3	83.5
2	運用していない	144	16.3	16.5
	有効回答合計	872	98.5	100.0
	無回答・無効回答	13	1.5	
	全体	885	100.0	

Q78 防災行政無線の各戸受信機

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	運用している	576	65.1	66.4
2	運用していない	291	32.9	33.6
	有効回答合計	867	98.0	100.0
	無回答・無効回答	18	2.0	
	全体	885	100.0	

Q79 災害対策本部が設置されている状況下で、避難勧告など、非定型の緊急のお知らせを、メールやツイッターなどで伝達する場合、どのような方法で行われることになりますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	防災担当者自身が直接配信する	453	51.2	52.9
2	防災担当者から情報・広報関係の担当者に依頼する	83	9.4	9.7
3	災対本部等の中で情報共有し、情報・広報関係の担当者が書き込む	195	22.0	22.8
4	特に決まっていない	55	6.2	6.4
5	メールやツイッターでは配信しない	70	7.9	8.2
	有効回答合計	856	96.7	100.0
	無回答・無効回答	29	3.3	
	全体	885	100.0	

貴市区町村では、昨年度中(平成25年4月1日～平成26年3月31日)に、避難勧告の発令などの防災関連情報を伝達する手段として下記のものを使用しましたか。訓練や日常のお知らせではなく、実際の災害時に使用したものに○をつけてください。

Q80 登録制の防災メール

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	運用している	286	32.3	33.6
2	運用していない	564	63.7	66.4
	有効回答合計	850	96.0	100.0
	無回答・無効回答	35	4.0	
	全体	885	100.0	

Q81 エリアメール（auやSoftbankの緊急速報メールを含む）

No	選択肢	回答数	比率（全 体、%）	比率（有 効、%）
1	運用している	133	15.0	15.6
2	運用していない	720	81.4	84.4
	有効回答合計	853	96.4	100.0
	無回答・無効回答	32	3.6	
	全体	885	100.0	

Q82 ツイッターまたはフェイスブック

No	選択肢	回答数	比率（全 体、%）	比率（有 効、%）
1	運用している	108	12.2	12.8
2	運用していない	735	83.1	87.2
	有効回答合計	843	95.3	100.0
	無回答・無効回答	42	4.7	
	全体	885	100.0	

最後に、貴市区町村自体についてお尋ねします

Q83 貴市区町村管内には、海岸線がありますか

No	選択肢	回答数	比率（全 体、%）	比率（有 効、%）
1	ある	351	39.7	39.8
2	ない	532	60.1	60.2
	有効回答合計	883	99.8	100.0
	無回答・無効回答	2	0.2	
	全体	885	100.0	

Q85 貴市区町村は、次のどれに該当しますか。

No	選択肢	回答数	比率（全 体、%）	比率（有 効、%）
1	政令指定都市	14	1.6	1.6
2	東京都特別区・中核市・特例市	57	6.4	6.4
3	市（1.、2.以外の市）	358	40.5	40.5
4	町	376	42.5	42.5
5	村	79	8.9	8.9
	有効回答合計	884	99.9	100.0
	無回答・無効回答	1	0.1	
	全体	885	100.0	

市区町村の防災に関するアンケート

静岡大学防災総合センター 牛山研究室

★回答は、特に指示のない限り、太線の枠内に「数字」または「○」でご記入ください。

★全問、1つの回答欄につき、1つのみの回答をご記入ください。

★回答できない設問、該当する選択肢がない設問は、空欄のままで構いません。

●それではまず、自然災害に対するお考えについてお聞きします。

貴市区町村は、次に挙げるような災害に対して安全だと思いますか。近いものをそれぞれ一つ選び、数字に○をつけてください。

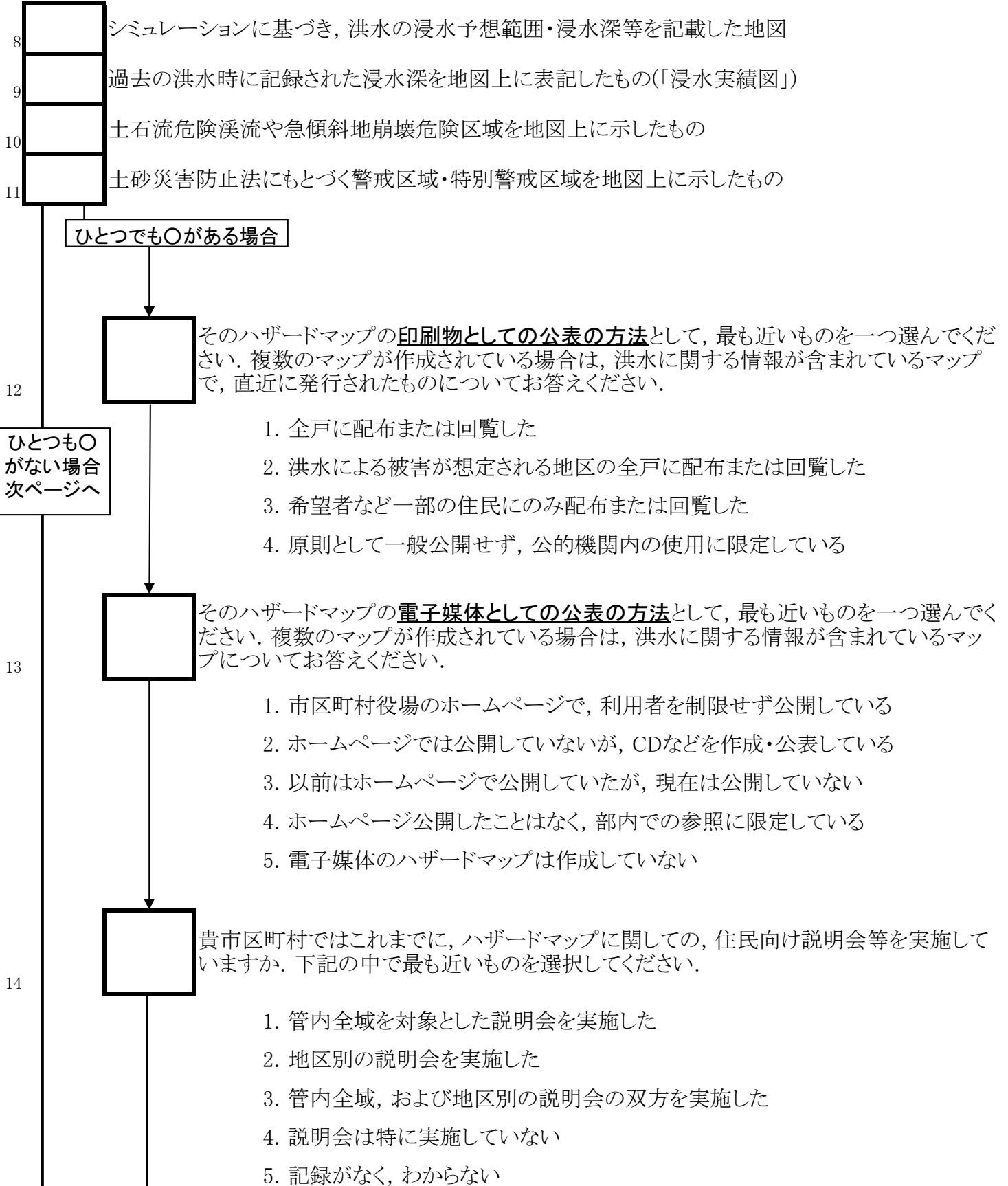
		安全	まあ安全	やや危険	危険	わからない
1	地震	1	2	3	4	5
2	津波	1	2	3	4	5
3	大雨・洪水	1	2	3	4	5
4	土砂災害	1	2	3	4	5

日本全国では、以前に比べて、豪雨が発生する回数や、豪雨による被害が増加したと思いますか。たとえば、最近(2000年以降)の平均値は、1980年代の平均値に対して何倍くらい増加(あるいは減少)したと思いますか。最も近いと思われる数字に○をつけてください。

		大幅に減少(0.5倍以下)	やや減少(0.6～1.0倍)	やや増加(1.1～1.5倍)	大幅に増加(1.6倍以上)
5	1時間雨量80mm以上の猛烈な雨の記録回数	1	2	3	4
6	豪雨による死者・行方不明者数	1	2	3	4
7	豪雨による住家の全壊・半壊・床上浸水の数	1	2	3	4

●ハザードマップについてお尋ねします

貴市区町村では、管内全体もしくは複数以上の集落を対象として、次のいずれかに該当するハザードマップを作成していますか。作成しているものに○をつけてください。1枚のマップに複数の情報が表示されている場合、表示されている情報のすべてに○をつけてください。





●災害の危険性がある場所についてお尋ねします

15 管内の土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定状況はどのようになっていますか

1. 全域で指定済み
2. 一部地区は指定済みだが、未指定の地区もある
3. 指定の可能性がある場所は存在するが、まだ指定されていない
4. 地形的に指定の可能性がある場所が存在しない

16 「全域で指定済み」または「一部地区で指定済み」の市区町村にお尋ねします。土砂災害警戒区域(イエローゾーン)と土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)の双方が指定されていますか。

1. レッドゾーンおよびイエローゾーンの双方が指定されている
2. イエローゾーンのみ指定されている
3. レッドゾーンのみ指定されている

17 「一部地区は指定済みだが、未指定の地区もある」または「指定の可能性がある場所は存在するが、まだ指定されていない」の市区町村にお尋ねします。土砂災害警戒区域の指定作業の主体は都道府県ですが、市区町村の立場から考えて、指定が進まない最大の要因を以下から選ぶとすれば、どれだと考えられますか。

1. 予算が十分ではない
2. 担当する職員数が十分ではない
3. 住民の合意が得られない
4. わからない

18 貴市区町村では、土砂災害を警戒して避難勧告・避難指示の対象世帯を判断する場合、土砂災害警戒区域等を考慮することになっていますか。ここで「土砂災害警戒区域等」は、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域・特別警戒区域の他、市区町村において土砂災害の危険性があると考えている場所も含みます。

1. 土砂災害警戒区域等に所在する世帯に対して行うことにしている
2. 土砂災害警戒区域等を含む地区の世帯に対して行うことにしている
3. 土砂災害警戒区域等の考慮は具体的には計画しておらず、総合的に判断することになっている

19

管内の避難場所を指定する際、洪水の影響を考慮していますか。ここで「避難場所」は、一定期間滞在する避難所および緊急時の避難場所の双方を指します。また、「浸水想定区域等」は、水防法に基づく浸水想定区域の他、市区町村において洪水の危険性があると考えている場所も含みます。

1. 洪水の浸水想定区域等へは豪雨の際に開設する避難場所を置いていない。
2. 洪水の浸水想定区域等へ豪雨の際に開設する避難場所を置いているが、2階以上の部屋を使うなど、運用方法を決めている。
3. 洪水の浸水想定区域等はあるが、避難場所の指定・運用に洪水のことは考慮していない。
4. 洪水の浸水想定区域等がなく、避難場所の指定・運用に洪水のことは考慮していない。

20

管内の避難場所を指定する際、土砂災害の影響を考慮していますか。ここで「避難場所」は、一定期間滞在する避難所および緊急時の避難場所の双方を指します。また、「土砂災害警戒区域等」は、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域・特別警戒区域の他、市区町村において土砂災害の危険性があると考えている場所も含みます。

1. 土砂災害警戒区域等へは豪雨の際に開設する避難場所を置いていない。
2. 土砂災害警戒区域等へ豪雨の際に開設する避難場所を置いているが、2階以上の部屋を使うなど、運用方法を決めている。
3. 土砂災害警戒区域等はあるが、避難場所の指定・運用に土砂災害のことは特に考慮していない。
4. 土砂災害警戒区域等がなく、避難場所の指定・運用に土砂災害のことは特に考慮していない。

21

管内の道路沿い、建物などに、防災を目的として、その地点の標高(海拔)を示す看板・標示物を設置していますか。市区町村が設置したもの以外にも、都道府県や国交省等が設置しているものがあれば、これらを含め、わかる範囲でご回答ください。

1. 東日本大震災以前から設置している
2. 東日本大震災以降新たに設置するようになった
3. 現在は設置していないが、今年度中に設置する予定
4. 現在は設置しておらず、今年度中に設置する予定もない

●防災情報に対するお考えについてお尋ねします

22

気象庁から、市区町村程度の地域的な広がり単位として、「土砂災害警戒情報」という情報が発表されることがあります。「土砂災害警戒情報」とはどのような時に発表される情報だと思いますか。

1. すぐに土砂災害が発生するほどではないが、念のため注意した方がよい時
2. 土砂災害が発生する可能性が生じた時
3. 土砂災害が発生する危険度が高まった時
4. 土砂災害が発生した時
5. わからない

23

気象庁から、市区町村程度の地域的な広がり単位として、「記録的短時間大雨情報」という情報が発表されることがあります。「記録的短時間大雨情報」とはどのような時に発表される情報だと思いますか。

1. 1時間の雨量が、その市区町村においては数年に一度程度しか発生しないくらいの値を記録した
2. 1時間の雨量が、その市区町村においては数十年間に一度程度しか発生しないくらいの値を記録した
3. 1時間の雨量が、日本全国で数年に一度程度しか発生しないくらいの値を記録した
4. 1時間の雨量が、日本全国で数十年間に一度程度しか発生しないくらいの値を記録した
5. わからない

24

平成25年8月末より、気象庁から「大雨特別警報」という情報が発表されるようになりました。この「大雨特別警報」とはどのような意味の情報だと思いますか。

1. 大雨による災害の起こる可能性は少ないが、注意を促す情報
2. 大雨による災害の起こるおそれを注意する情報
3. 大雨による重大な災害が起こるおそれを警告する情報
4. 大雨による重大な災害の起こる恐れが著しく大きいことを警告する情報
5. 避難所への避難を呼びかける情報
6. わからない

貴市区町村内に次のような情報が発表された時、管内の一部または全域に対して、避難勧告または避難指示を出すと思いますか。最も近いものにそれぞれ1つ○をつけてください。

		確実に 出す	出す可 能性は ある	出す可 能性は 低い	確実に 出さない
25	大雨警報	1	2	3	4
26	土砂災害警戒情報	1	2	3	4
27	記録的短時間大雨情報	1	2	3	4
28	大雨特別警報	1	2	3	4

29 現在気象庁では、「大雨警報レベル1」～「大雨警報レベル5」のように、5段階のレベルで気象警報を発表することが検討されています。5段階のレベルで警報が発表された場合、災害発生の危険性が高いのは「レベル5」の方だと感じますか、あるいは「レベル1」の方だと感じますか。

1. 「レベル1」の方が災害発生の危険性が高いと感じる
2. 「レベル5」の方が災害発生の危険性が高いと感じる

貴市区町村内に下記のような5段階のレベルで気象警報が発表された時、管内の一部または全域に対して、避難勧告または避難指示を出すと思いますか。なおここでは仮に、「レベル5」の方が災害発生の危険性が高いものと定義します。

		確実に 出す	出す可 能性は ある	出す可 能性は 低い	確実に 出さない
30	大雨警報レベル1	1	2	3	4
31	大雨警報レベル2	1	2	3	4
32	大雨警報レベル3	1	2	3	4
33	大雨警報レベル4	1	2	3	4
34	大雨警報レベル5	1	2	3	4

●避難勧告・避難指示に対するお考えについてお尋ねします

避難勧告・避難指示のあり方については様々な考え方があります。以下ではいくつかの論点について、それぞれ対極的な二つの考え方を挙げます。どちらかと言えば、「1」と「2」のどちらに賛成されますか。どちらか一方をお選び下さい。

35 一般的な避難勧告や避難指示について

1. 避難勧告や指示は、「空振り」に終わってもよいから、できるだけ積極的に出すべきである。
2. 避難勧告や指示は、「空振り」が許容されないので、できるだけ慎重に出すべきである。

※ここで「空振り」とは、避難勧告等を出したが結果的に何も被害が発生しなかった状態を指します。

36 一般的な避難の判断について

1. 災害時の避難は、最終的には住民が判断すべきであり、行政の仕事はそれをサポートすることである。
2. 災害時の避難は、行政が責任をもって判断すべきであり、住民は行政の判断を頼りにして欲しい。

37 避難勧告・避難指示を出していない状況下で、夜間に「土砂災害警戒情報」や「大雨特別警報」などが発表され、さらに雨脚も強まっている状況下での避難勧告等の判断について

1. 夜間は、避難することによりかえって犠牲者が増える可能性があるため、避難勧告・避難指示は出さない方がよい。
2. 夜間であっても、無理な避難行動は取らないよう呼びかけた上で、強く注意喚起するためにも、避難勧告・避難指示を出した方がよい。

38 急激に発達した豪雨時など、避難所の開設が完了していない場合の避難勧告・避難指示について

1. 豪雨時には、避難所の開設が完了していなければ、避難勧告・避難指示は出さない方がよい。
2. 豪雨時には、避難所の開設が完了していなくても、特に危険な状態が生じていれば、注意喚起の意味で避難勧告・避難指示を出した方がよい。

●昨年度の管内の災害についてお尋ねします

管内では、昨年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)中に、台風・大雨に起因する洪水または土砂災害による下記の被害は生じましたか。

		発生した	発生していない
39	死者または行方不明者	1	2
40	重傷者または軽傷者	1	2
41	住家の全壊・半壊・一部損壊	1	2
42	住家の床上浸水・床下浸水	1	2
43	非住家の全壊・半壊・一部損壊・床上浸水・床下浸水	1	2

44 昨年度(平成25年4月1日～平成26年3月31日)中に、台風・大雨に起因する洪水または土砂災害を警戒する目的での避難勧告または避難指示を発令しましたか

1. 発令した
2. 発令していない

発令した場合

発令していない場合、次ページへ

発令した事例を下記から選んでください。

		発令した	発令していない
45	7月28日の島根県及び山口県を中心とする大雨	1	2
46	8月9日の東北地方を中心とする大雨	1	2
47	8月23日から28日にかけての前線の活動による大雨	1	2
48	9月15日から16日にかけての台風18号	1	2
49	10月15日から16日にかけての台風26号	1	2
50	その他の台風・大雨	1	2

現在の貴市区町村の防災担当の専任職員の中で、防災を主内容とした体系的な研修に参加した方はいますか。該当する研修に○をつけてください。ここでいう「体系的な研修」はおおむね通算2日間以上の日程で、複数の科目が盛り込まれたものを指し、単一内容の講習や数時間程度の講演は含みません。

		参加した	参加していない
60	内閣府主催の「防災スペシャリスト養成研修」	1	2
61	国土交通大学校主催の研修	1	2
62	人と防災未来センター主催の研修	1	2
63	消防大学校主催の研修	1	2
64	消防科学総合センター主催の研修	1	2
65	市区町村アカデミー主催の研修	1	2
66	自治大学校主催の研修	1	2
67	防災士養成研修(自治体・防災士機構・大学等が主催)	1	2
68	都道府県主催の研修	1	2
69	大学主催の研修	1	2
70	その他の体系的な研修	1	2

71 災害対策本部が設置されている状況下で、避難勧告など非定型の緊急のお知らせを、役所のホームページ(防災部門のページだけではなく、「最新情報」などの目立つ場所)に掲載する場合、どのような方法で行われることになりますか。

1. 防災担当者自身が直接書き込む
2. 防災担当者から情報・広報関係の担当者や委託業者に依頼する
3. 災对本部等の中で情報共有し、情報・広報関係の担当者が書き込む
4. 特に決まっていない

72 災害対策本部が設置されている状況下で、避難勧告など非定型の緊急のお知らせを、役所のホームページ(「最新情報」など)に掲載する場合、そのお知らせを作成してからどの程度の時間が必要だと思いますか

1. 5分未満
2. 5分以上1時間未満
3. 1時間以上3時間未満
4. 3時間以上

85 貴市区町村は、次のどれに該当しますか。

1. 政令指定都市
2. 東京都特別区・中核市・特例市
3. 市(1., 2.以外の市)
4. 町
5. 村

貴市区町村名をご記入ください

86 都道府県名

87 市区町村名

ご回答いただいた方の連絡先, 差し支えなければご担当者名をご記入ください

88 部署

89 電話

90 E-mail

91 ご担当者

ご回答いただき, 本当にありがとうございました.
このアンケート用紙を, 返信用封筒でお送りくださるようお願いいたします.

市区町村の防災に関するアンケート 報告書

2015年3月31日発行

著者・発行者 静岡大学防災総合センター牛山研究室
照会先 静岡大学防災総合センター 牛山研究室（教授 牛山素行）
〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836
電話&FAX：054-238-4546
E-mail：ushiyama@disaster-i.net
URL：http://disaster-i.net/